

2023年 12月9日(土) 12:00~14:00 (開場 11:30)

キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

(定員 170名、当日先着順、入場無料)

シンポジウム

講演

12:00
~ 12:40

いまいずみ じゅうごう

今泉 柔剛 (文化庁審議官)

「文化庁の京都移転と今後の文化政策について」

あかまつ たまめ

赤松 玉女 (京都市立芸術大学 学長 / 画家)

「京都市立芸術大学 143年目の新キャンパス」

パネルディスカッション —芸術を育む街、京都に—

12:50
~ 14:00

あかまつ たまめ

赤松 玉女 (京都市立芸術大学 学長 / 画家)

いまいずみ じゅうごう

今泉 柔剛 (文化庁審議官)

かわしま わたる

川嶋 渉 (日本画家 / 日展会員 / 京都市立芸術大学美術学部教授)

もりぐち くにひこ

森口 邦彦 (染色家 / 人間国宝 / 文化功労者)

やまもと まゆみ

山本 麻友美 (京都芸術センター副館長 /
京都市文化政策コーディネーター)

司会

つじ きよじ

辻 喜代治 (フリーランスキュレーター / 成安造形大学名誉教授)

〈50音順〉

京都市立芸術大学 新キャンパス見学会

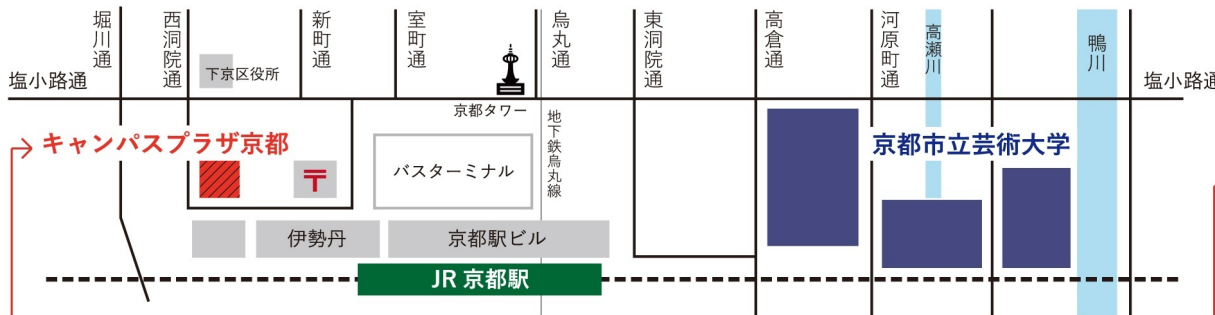
14:20
~ 15:00

新しくなった芸大の新キャンパスを職員の方の案内で見学します。

キャンパスプラザから芸大までは徒歩15分。

(シンポジウム参加者の内、御希望の方。定員30名先着順。)

《キャンパスプラザ京都・京都市立芸術大学 新キャンパスへのアクセス》

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939
TEL:075-353-9111京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。
お越しの際は、可能な限り「京都市バス」、「京都市営地下鉄」をご利用ください。キャンパスプラザ京都
へのアクセス方法
↓文化庁・京都市立芸大
移転記念シンポジウム
—芸術を育む街、
京都に—

— 芸術を育む街、京都に —

3年半に及ぶパンデミックもようやく収束しつつある今年、春には京都に文化庁が本格移転し、秋には京都市立芸術大学が市街地に戻ってくるという節目を迎えることとなりました。

美術館・博物館・芸術系大学が多く存在する京都の中であって、1880年創立の日本最古の芸術大学である京都芸大は、多くの作家を輩出し、京都の文化芸術を豊かにする役割を担ってこられました。京都画廊連合会とのかかわりも深く、作家と画廊が互いに協力し、育てあってきた歴史があります。新しいキャンパスは、開かれた「テラス」を目指すとのこと。

また、中央省庁としては初の本格移転を敢行された文化庁は、行政として全国を対象とするのは当然のことですが、京都を拠点にすることで、今までと違った活動を展開される意図があることと存じます。

日頃画廊という「美術の現場」で市民や作家と接してきた私も画廊連合会が媒介することで、二つの移転の意味が京都府・市民により身近なものとして生かされることを願って企画しました。

初冬の午後、京都の文化・芸術を考え、新キャンパスを見学してみませんか？

京都画廊連合会

■登壇者



赤松 玉女 あかまつ たまめ

1959年兵庫県尼崎市生まれ。1984年に京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻(油画)修了後、国内外の美術館やギャラリーでの展覧会を中心に活動。油彩、水彩、フレスコ技法など、画材や技法を組み合わせた絵画表現の可能性を研究。イタリアでの創作活動などを経て、1993年に母校である京都市立芸術大学美術学部美術科油画専攻教員に着任。2018年度から美術学部長。2019年4月から現職。2020年度尼崎市民芸術賞、2021年度亀高文子記念一赤艸社賞。



森口 邦彦 もりぐち くにひろ

1941年京都市生まれ。1963年京都市立美術大学卒業。(1966年フランス国立高等装飾美術学校卒業。1969年日本伝統工芸展 優秀賞受賞(同'73)日本工芸会 正会員。1986年パリ ジャンヌピュッシュにて個展(同'90、'97開催)。1987年「森口邦彦 着物」展(スイス ローザンヌ市立装飾美術館)。1991年森口邦彦 友禅着物展(デンマーク 工芸美術館/アシムリアン博物館)。2007年重要無形文化財「友禅」保持者認定。2020年森口邦彦 友禅/デザインー交差する自由へのまなざし(京都国立近代美術館)、文化功労者。



今泉 柔剛 いまいずみ じゅうごう

1969年生まれ。東京大学文学部卒。1994年文部省高等局大学課。1998年在トルコ共和国大使館二等書記官。2008年文部科学省高等局大学振興課大学改革推進室長。2010年 OECD 日本政府代表部一等書記官。2011年同 参事官。2013年高等局高等教育企画課大学設置室長。2014年大臣秘書官。2018年(独)日本スポーツ振興センター理事。(兼)新国立競技場設置本部長。2020年スポーツ庁政策課長。2021年東大理事。2023年文化庁審議官。



山本 麻友美 やまもと まゆみ

1972年生まれ。2000年の開館当初から、京都芸術センターにてアーティスト・イン・レジデンスや展覧会等、若手芸術家の育成、支援を目的とした多様な事業に携わる。京都芸術センターチーフプログラムディレクター(2016-2021)、京都市文化芸術総合相談窓口(KACCO)ディレクター(2020-2021)等を経て現職。2022年からアートと社会の関係性を新たに構築するためのプラットフォーム KYOTO INTERCHANGE を開始。自主的な研究会「新しい文化政策プロジェクト」プロジェクトメンバー。京都芸術センター副館長、京都市文化政策コーディネーター。



川嶋 渉 かわしま わたる

1966年京都市生まれ。1989年京都精華大学卒業。1996年日展特選('02)2004年京都市芸術新人賞受賞。2006年京都迎賓館作品制作。2016年室生寺 室生山水図屏風制作。2020年 KYOTO STEAM2020 国際アートコンペティション スタートアップ展(京都 京都市京セラ美術館 東山キューブ)現在 日展会員。京都市立芸術大学教授。

■司会



辻 喜代治 つじ きよじ

1948年大阪生まれ。1973年京都市立芸術大学工芸科卒業。1975年同校美術専攻科修了。その後1988年、文化企画事務所 THE OFFICE/ジ・オフィスを京都に設立。個人作家の資料収集、国内外の美術館・キュレーター等との情報交換をおこなっている。専門領域は工芸全般、デザイン。特に現代の工芸から現代の美術他。近年は自治体の文化政策を中心に研究。滋賀県や京都のさまざまな審議委員や美術館・文化施設の委員を務める。フリーランスキュレーター・成安造形大学教授名誉教授。

京都画廊連合会とは

画廊連合会は、1975年に発足。画廊間の連絡・協議を図ることにより京都の文化・芸術の充実・振興に寄与することを目的とし、美術館・百貨店・画商・企画画廊・貸画廊など、様々な事業形態の会員が一堂に会する全国でもまれな団体です。毎月、京都画廊連合会ニュースを発行するなど、48年間にわたり、様々な事業に取り組んでまいりました。発足当時は京都府が、その後には京都文化博物館が事務局を担当して下さっています。現在の会員は約70軒。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kyoto-art.net/>



主催：京都画廊連合会 共催：京都市立芸術大学

協力：京都芸術センター

後援：京都府、京都市、京都文化博物館、京都新聞、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞京都総局

【連絡先】 京都画廊連合会企画委員会担当 TEL:090-3036-2081(人見)